

ゆつたり 石野



*Ishino area, Toyota city
REAL LIFE BOOK*

自然と利便。
ほどよい暮らし。



ゆつたり 石野

Ishino area, Toyota city
REAL LIFE BOOK

CONTENTS

- はじめに ようこそ石野へ
- かんじる 石野の風景より
- うけつぐ 石野で息づく 伝統・文化
- つながる 石野の人って温かい、というお話
- まなぶ 石野の学校っておもしろい！
- はぐくむ 石野はみんなで子育て！
- あそぶ 石野なら大人だって本気で遊べる！
- くらす つくる暮らし
- くらす あそぶ暮らし
- くらす 支える暮らし
- くらす 見つけた暮らし
- しる 石野ってこんな場所
- やくだてる 定住を応援！各制度情報

ほどよく便利。

あなたが探していた暮らしが、石野からはじまります。



愛知県豊田市石野地区は、地域差はありますが総じて田舎です。でも、市街地へのアクセスが意外と便利です。「カントリー生活を思いきり楽しみたい!」「田舎に住みたい。だけど、利便性も欲しいな…」そんな要望にお応えできる穴場的スポットなんです。本誌が、理想の暮らしを求めるあなたとのご縁を結びますように。

ACCESS

名古屋方面から

- 東名高速道路名古屋IC
- 名古屋瀬戸道路「足助」方面へ
- 猿投グリーンロード「力石IC」

豊田方面から

- 東海環状自動車道「豊田勘八IC」
- 豊田市内より国道153号平戸橋から足助方面へ車で5分

関西方面から

- 東名阪自動車道「四日市JCT」
- 伊勢湾岸自動車道「豊田東JCT」
- 東海環状自動車道「豊田勘八IC」

関東方面から

- 東名高速道路「豊田JCT」または新東名高速道路「豊田東JCT」
- 東海環状自動車道「土岐JCT」方面へ
- 東海環状自動車道「豊田勘八IC」

市内外への通勤が意外と?便利!

猿投グリーンロードを通れば名古屋ICまで車で35分!

豊田市街地なら車で20分!

周辺環境

- ※移動時間は石野交流館から起算
- 豊田厚生病院…車で25分(12km)
 - 豊田市立石野中学校…徒歩3分(200m)
 - 豊田市立中金小学校…車で3分(2.4km)
 - 豊田市立東広瀬小学校…車で5分(2.5km)
 - 豊田市立上鷹見小学校…車で5分(3.7km)
 - 足助病院…車で12分(8km)

広瀬バス停から

豊田厚生病院まで	35分
豊田市駅まで	37分
足助病院まで	16分



石野を感じる。

あなたが探していた暮らしが、石野からはじまります。





とっておきの1枚が
いつもどこかで、撮れるまち。

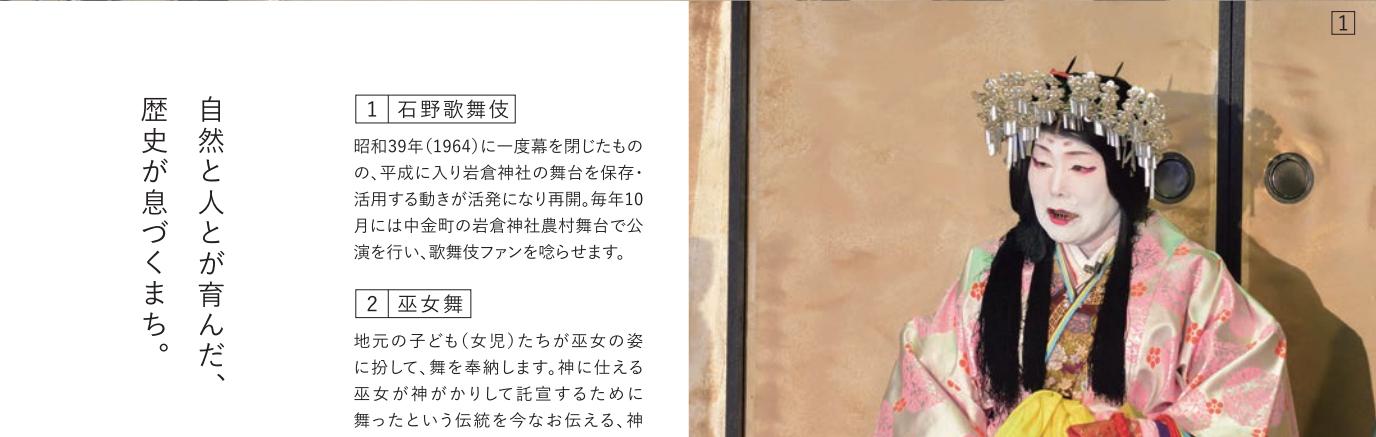




tradition

代々にわたり受け継ぎ、守るべき石野の文化があります。

受け継ぐ伝統と文化。





石野地区の歴史・文化・行事や由緒ある建物

矢作川の水辺と山々の緑に囲まれた石野には、数々の名所・旧跡があります。どれもが次代へ伝えたい地域の魅力です。

1 源氏の瀬

矢作川で唯一昔からの姿を残す

現在、矢作川中流でみられる唯一の急流で、激しい流れが源氏の武士を思わせるところからその名がついたといわれています。週末になるとしぶきをあげて急流を下るカヌーが何艘も。カヌー競技のリオオリンピックメダリストもここで練習を積みました。

豊田市富田町／
豊田市街地から
車で30分程

2 野口雨情詩碑

野口雨情の先祖とのゆかりの証

詩人・野口雨情の「七つの子」の詩碑。野口家は楠木正成一族の末裔と言われ、この地に身を隠した際に野口姓を名乗ったと言われており、その縁があり建立されました。野口という地名は野神社の入り口にあることからついたものと言われています。

豊田市野口町／
豊田市街地から
車で35分程

3 しゃくやく姫の塚

美しい姫の悲話を今に伝える

戦国期、現在の足助地区にあった泰生(きびゅう)城に美しい姫がいましたが、武田軍に攻められ野口まで逃げ、井戸に身を投げました。その井戸が埋められて塚となり、しゃくやくが咲くようになったためこの名があります。

豊田市野口町／
豊田市街地から
車で35分程

4 おはせの宮

知る人ぞ知る石野が誇る奇岩

男性のシンボルと女性のシンボルを形づくっている非常に珍しい自然の巨石です。石野にはその名のとおり、奇岩が多くあります。

豊田市中金町／
豊田市街地から
車で30分程

5 広瀬城址

矢作川に臨むかつての要塞の姿

眼下に矢作川を望む小高い山に、南朝の臣・児島高徳が築城したとされる広瀬城の跡です。永禄3年(1560)、松平元康(のちの徳川家康)に

攻められて落城しました。東広瀬町には城下、大手、蔵屋敷など、かつて城があつたことを示す地名が残っています。

豊田市東広瀬町／
豊田市街地から
車で30分程

6 藤沢水神ロード

矢作の流れも目に眩しい、水辺のドライブコース

矢作川に沿って県道豊田明智線を北上し、藤沢町内に入ると徐々に林が開け、やがて右手に矢作川が望めます。この区間は地元住民が不

要な竹木を切り、花を植えて景観を整備した藤沢水神ロードと呼ばれ、ドライブやサイクリストの心を和ませるコースです。

豊田市藤沢町／
豊田市街地から
車で35分程



ISHINO TRADITION MAP



7 広梅橋から望む矢作川

東西の広瀬をつなぐ橋

東広瀬町の梅村源次郎翁が、東広瀬と西広瀬を結ぶ橋を架けたことから命名された広梅橋。西広瀬町の人々からも出資を得て昭和5年(1930)に

完成了。この橋に立ち、矢作川の雄大な流れに目をやれば、きっと心も安らぐでしょう。

豊田市東広瀬町／
豊田市街地から
車で30分程

8 目治し地蔵

ささゆりの群生地の傍らに佇む隠れ地蔵

江戸時代に付近の岩を刻んで作られたと推定され、眼病を治すご利益があるといわれています。地蔵が座るこの道は、かつて下川口(藤岡地区)へとつながっていました。この地蔵様は、矢作川の船着場へと下る松嶺の人々を見守っていたのではないでしょうか。

豊田市松嶺町／
豊田市街地から
車で40分程

9 廣濟寺

南北朝時代に建立された由緒ある寺院

南朝の臣・児島高徳が父・範長や戦死した兵を弔うために結んだ草庵が起源とされる曹洞宗の古刹です。第二次世界大戦中、高名な人類学者

で東洋学者のフォスコ・マライーが過ごした場所でもあります。

豊田市東広瀬町／
豊田市街地から
車で35分程

10 小猿投山からの眺め

ここにも猿投山が?

小呂町には小猿投山と呼ばれる丘があり、ここからは猿投山を遥拝することができます。古くから地元の人々に祀られており、毎年10月には火祭りが行われます。晴れた日には、遙か西に名古屋駅の高層ビル群が望めます。

豊田市小呂町／
豊田市街地から
車で30分程



communication

まるで、みんなが家族。

いろいろな人が集い、支えあう場所が石野にあります。



ここに来れば、誰かがいる。
月曜サロン ょっといでん

「シニアだけでなく、若い方も気軽に立ち寄れる場所でありたい」
目指すは、石野の未来を支える多世代交流。

開催場所：豊田市東広瀬町神田26番地1 石野の里

東広瀬町にある特別養護老人ホーム「石野の里」では、月曜日になると会話を楽しむ笑い声で賑やかさが一段と増えます。その源が、石野の里の地域交流ホールで開催される「月曜サロン」。平成30年(2018)12月にサロンをオープンして以来、地域を超えて欠かさず参加するグループや、開店前から並ぶ熱心なファンがいるほどの人気ぶりで、開店するとホール内はすぐに満席に。最近は、地域バスを利用して参加される利用者もチラホラ見えます。このサロンは、高齢者の皆さんがいつまでも元気に自立できることと、新たに転入された若い世代が地域に早く馴染み、住みやすいと思っていただけるような地域づくりを

目指し、多世代が「気軽に集えるくつろぎの場所」として開設。コーヒーや昆布茶を飲み、スタッフが用意したおやつを食べながら時間を忘れてのおしゃべりは至福のひと時。毎月第3月曜には、ミニコンサートやミニ門松づくりなど季節のイベントを実施。取材日には地元の上鷹見小学校の児童たちが演奏会に訪れるなど、地域との交流も盛んです。今後は、「子育て世代のママ達にも来てもらえたら」と、代表の河原さん。石野の未来を支える若い世代が来やすく、みんなで子育てできる地域にするために、月曜サロンがその足掛かりになれたら…と考えています。



障がいがあっても、輝ける。
**もりね
森音の会**

障がいをもっている人も、地域の人に理解され、働き、住み続けられる場所。
築100年の古民家を拠点に、自然の中、地域で働き、住み続けられることを夢見て。

所在地：豊田市野口町斎の神東343-2

障がいがある子とそのご家族の交流の場として、平成22年(2010)に生まれた森音の会。もともと、小学校の特別支援学級に通う親子が集まっていましたが、「子どもたちが将来、このまちで住み働き続けられるための場所でありたい。」という想いから、学校や事業所とは異なる第三の場所として立ち上りました。ご家族によるボランティア活動をベースに、ママ会や講演会、バザーといった催しを月に第4日曜と他数回、ゆるりと行って門戸を開いています。

森音の会の活動拠点は、築100年は経つという古民家。まるで田舎のおばあちゃん家を思わせる土間や縁側がある空間で、子どもたちが軽作業をしたり、衣類や食器、文具といった雑貨を販売・管理するなど、楽しくマイペースに営業中。なかでも好評なのは、森音の会との縁がきっかけで出張販売に来てくれる、佰円屋さんの日替わり500円ランチ。森音の会オリジナルのワッフルやドリンクも人気です。また、もりもりバザーとして森音

の会だけでなく地域のイベントにも出店。1年に1度森音の会で開く「もりもりバザーまつり」は多くの人で賑わいます。障がいがある人も多い人も集まる森音の会は、他愛のない会話から情報を交換し、支えあえる貴重な場所。「子どもたちが人とふれあうこと、つながることを意識してくれたら」と代表の小池さん。子どもたちや家族、そして地域も誰もが心地いい距離感のなか、森音の会では今日も優しい時間が流れています。



燃えるロックを魅せてやる!
The 消防 Rockers

仕事と家庭の日々から、青春を取り戻すため、再び楽器を手にした6人の燃える消防団員!

ホームページ: <https://syoubowrockers.localinfo.jp/>

本業は別にありながら、火災や災害が発生すれば、いち早く駆けつけて活動にあたる地域の消防団。加えて、地区のお祭りやイベントでの警備等の活動にもあたり、頼もしくて身近な存在です。ところが、ライフスタイルが変化してきたことから、最近では団員の確保が難しくなっています。

そこで立ち上がったのが、かつてプロのミュージシャンを志し、現在は中金町でスタジオを営む松井さん。「消防団のやり

がいや苦労をロックンロールで表現して、親しみを持ってもらえないだろうか」と、仲間ともにバンド「The 消防Rockers」を結成したのがはじまり。トレードマークは消防団風ユニフォームとヘルメット。ロックの名曲を、消防団員ならだれもが共感する歌詞に置き換えてプレイするのが彼らの特徴です。毎年秋に行われる石野地区芸能まつりでなんと石野歌舞伎の前座を務め、歌舞伎役者さながらにおひねりを浴びるという鮮烈なデビューを果た

しました。

その後、当初3人だったメンバーが6人に増え、2枚のアルバムをリリース(残念ながら非売品。曲は公式ホームページからダウンロード可)。ロックファンなら、そのパフォーマンスの本物ぶりがわかるはず。今では地元スポットの岩倉神社農村舞台や足助消防署にとどまらず、豊田市内の各イベントや、名古屋の老舗ライブハウスにも出演しています。



昔懐かし、駅舎カフェ 旧名鉄三河線 三河広瀬駅・西中金駅

旧駅舎を再活用して
地域のふれあいステーションに。
映えスポットとしても人気!

開催場所と営業時間:
三河広瀬駅 東広瀬町神田41-6 毎週土・日曜日 午前9時～正午
西中金駅 中金町前田766-2 每週土・日曜日 午前10時～午後3時

平成16年(2004)3月、名鉄三河線の猿投駅以北は廃線となり、石野地区内にあった三河広瀬駅、終点の西中金駅もその役目を終えました。その後、それぞれの駅周辺に暮らす人々が、「かつてのように人が集まって交流する場にしたい」との思いから、様々な活動を始めました。その一つが、駅舎を利用した週末限定のカフェ。五平餅やコーヒーを目当てに人々が集い、語らう憩いの時間です。また、旧三河広瀬駅ではマレットゴルフが楽しめ、旧西中金駅近くには本格的な廻り舞台を備えた「岩倉神社農村舞台」という見どころもあります。いずれも「インスタ映え」するスポットとして、週末以外にも訪れる人が少なくありません。



安い、おいしい、安心! 広瀬駅前産直ひろば 西中金駅軽トラ市

新鮮な地元産の野菜が買える
駅舎隣のローカルマーケット

開催場所と営業時間:
広瀬駅前産直ひろば 三河広瀬駅
5~9月の毎週土・日曜日
(5~9月 午前8時30分~正午 10~12月 午前9時~正午)
西中金軽トラ市 西中金駅
4~9月の第2・第4土曜日 午前9時30分~正午



旧三河広瀬駅では、地域の高齢者が育てた野菜を売る「広瀬駅前産直ひろば」が、そして旧西中金駅では石野で採れた野菜を軽トラで売る「西中金軽トラ市」が開かれています。おいしい野菜が手ごろな価格で手に入ることから、遠くから通う常連客も少なくありません。生産者の顔がしっかり見えることや、他愛のない会話を交わせるのも魅力の一つ。石野では、野菜の地産地消は当たり前のライフスタイルです。バスケットを片手に、あなたも訪れてみませんか?

豊かな自然があるから学べる



小規模ならではの

コミュニケーション

PCやタブレットを
一人一台活用したICT教育



at school

子どもたちの人間力を育む学び

~石野の学校っておもしろい!~

【石野地区小・中学校】東広瀬小学校／中金小学校／上鷹見小学校／石野中学校



伝統や文化を
通して感性を刺激



石野の小・中学校では、豊かな自然や地域文化をいかした独自の学びを日々実践しています。

子どもたちと先生の距離感が近い環境の中で、学校のみならず家庭や地域も巻き込んだ学びを享受できます。

「人として大切なことを、学び、習い、糧となるように。」石野の子どもたちが、キラキラ輝いている理由です。

特色ある学びの仕掛け



others...
地域との積極的かかわりで
社交性や自主性を育む

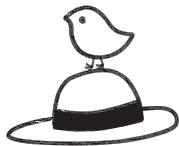




大事な乳幼児期の子育てを 豊かな経験と愛情であたたかくサポート

さくらんぼのメンバー全員が元・保育士!

手遊び、親子のふれあい遊び、絵本の読み聞かせ、人形劇など
専門職ならではのスキルとたくさんの愛情を注いだお楽しみメニューを
石野交流館で月に一度無償で提供してくれます。
当日参加OKの気軽さも人気のヒミツ。
子育てパパ・ママ同士のつながりも自然と生まれる
とってもあたたかな時間です。



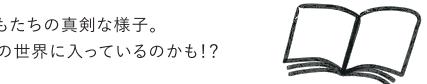
保育士として長年務めた経験を持つメンバーのみなさん。
中には園長先生だった方も。



使う道具はほぼ自前。プログラムを考え、必要なものを手作りし、
子どもたちと過ごす時間が「とにかく楽しい」のだそう。



子どもたちの真剣な様子。
物語の世界に入っているかも!?



子どもも大人も イキイキ できる 場所



child care

石野には、
石野に暮らす人々によってつくられた
独自の子育て応援のカタチがあります。
そこでは、子どもたちはもちろん、
子どもたちの親や地域の人たちが
あたたかな交流を育んでいます。
「子育ては、みんなでするもの。」
そんな意識がこのまちには
自然と根付いているのです。



ダブルダッチの講師を外部から招き、
小学生によるチーム“インフィニティ”を
結成!毎に一度、活動中。



地元のヨガの先生とお寺の関係者をばーすが取り持つ、お寺ヨガが実現!
今では人気プログラムに。



子育て広場

地域のこども園で、親子でゆっくりし
安心してくつろげる遊びと交流場所を
開放しています。

場所: 東広瀬こども園、中金こども園、
上鷹見こども園
利用可能日時: 各こども園で異なるため、
市ホームページでご確認ください。

子育て交流スペース

主に乳幼児のお子さんと保護者が
利用できます。
親子が楽しく遊べ、親同士の情
報交換の場所になっています。

場所: 石野交流館ロビー
開催日: 石野交流館 開館日に準ずる



子どもやママの習い事など 斬新なアイデアで暮らしに豊かさを演出

自分たちの子育ての経験を生かしてほしいと、
アクティブなママたちが結成した「ばーす」は

平成30年(2018)に活動を開始して以来、
英語でクリスマス会、器械体操、ダブルダッチなど
子どもたちの感性を養う場を次々と創出。

さらにママを対象にしたお寺ヨガやアロマ教室を企画するなど
石野で豊かな時間が過ごせるきっかけをつくってくれています。
子育てにとどまらず、石野ライフがますます楽しくなりそうです。

Let's play in Ishino!



Playing

このまちなら
大人だって
本気で遊べる！

~石野の遊び 5選~



カヌー・ボート

▲富田町にて。

石野を流れる矢作川には「源氏の瀬」と呼ばれる急流があります。あたかも源氏の武士のように猛々しい流れからその名がつきました。週末には、この急流で練習を重ねるカヌーイングの姿が見られます。そして、下流の石野町・勘八町では力強く、まっすぐに川面を突き進むボートの姿も見られます。

Canoe & Boat



大人も満足すること間違いない！
きっと暮らしにメリハリがつきますよ。
ここでご紹介する遊びはほんの一部。
楽しみ方はあなた次第です。
目指せ、遊びの達人！



遊びは子どものもの？
いいえ、大人だって本当は遊びたいはず！
石野でなら、そのロケーションを生かした
本格的な遊びをいろいろと楽しめちゃいます。



マレットゴルフ

旧三河広瀬駅の隣でプレイ可能！廃線の南側に広がる、ちょっと変わったコースが特徴です。週末の土・日には駅舎でカフェが、プラットホームの前では野菜の産直市場が開かれます。マレットゴルフのついでに立ち寄れるのもうれしい♪

Mallet Golf



ゴルフ

▲南山カントリークラブにて。
地元・中金町の方がラウンドしています。



薪ストーブ

▲所在地／
豊田市石野町土橋264



薪をくべながら、火の揺らぎ、温かさを家族で楽しめる冬の贅沢。そんな憧れの薪ストーブライフも、土地にゆとりがある石野なら、煙突の煙を気にすることなく堪能できます。薪に必要な材木を山主さんからご厚意でいただけるのも、山が豊富な石野ならでは♪

Wood Stove



石野サーキット

遠方から多くのファンが訪れる、レーシングカート用サーキットが石野にあるんです。迫力あるレースが日々展開されています。見学もOK！レンタルも充実しているので、未経験者やファミリーなど、誰でもカートが楽しめるのも魅力です。

Circuit

▲勘八町にて。

しいたけづくりが気づかせた “つながり”的大切さ

森さん／井原さん

二人とも石野地区の成合町在住。地域会議委員としても活躍し、変わりゆく石野、変わらない石野の姿を見つめている。



人と人をつなげる仕組みづくりを
これからの石野に少しでも残したい

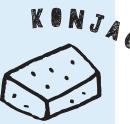
「地域を活性化するために」と、たまたま環境が整った共有林があったことから“しいたけづくり”を始めたのが平成17年（2005）頃のこと。寒さが厳しくなる冬、直径15cm・長さ約1mの原木を大量に山から切り出す。体力が要る作業だ。菌打ち後、要所を除きほぼ自然に委ねて育てる。収穫は春と秋の年2回。当初のオーナー制度が盛況で、収穫時には山がおおいに脈



精魂込めたこんにゃくは 石野想いのやさしい味

森さん（70代）

豊田市稻武地区出身。石野地区の勘八町に暮らして約50年。勘八太鼓の講師も務め、地元の子どもたちにボランティアで20年以上指導している。



こんにゃくづくりは出来が毎年違うから面白い
それに、喜んでくれる人がいる

こんにゃくを芋から作り続けて15~6年という森さん。種芋を春に植え、芋が一人前の大きさに育つまでには4年もの歳月がかかるというから、趣味と言っても本気の趣味だ。秋に収穫する際、2~3年ものの芋にくつついでできる木子（キコ）が種芋となり、翌年にまたそれを植えて増やして…の繰り返し。こんにゃく芋は日照りや水はけの悪さに弱く、とてもデリケート。森さんは



そんな芋を世話するためにほぼ毎日畑へ足を運ぶ。そしてこんにゃくづくりも最低半日はかかる大仕事だ。手塩にかけてつくるこんにゃくを、ご近所や地域の集いの場で惜しげもなく振る舞う森さんは、なんて愛情深い人だろう。「こんにゃくづくりを伝えていけたら」とちょっぴり強面なお顔を崩して笑う姿に、温かさがにじみ出ている。こんにゃくづくりに込められているのは、石野や石野で暮らす人への想いだ。



石野の豊かさの象徴 もくもく窯と竹炭づくり

鈴木さん

石野地区の上高町在住。13年間にわたり、上鷹見小学校の竹炭づくりをサポートし続ける。



もくもく窯の守り人として
子どもたちの学びをサポート

創立約150年という歴史を持つ上鷹見小学校。そこから西へ歩いてわずか数分のところに「もくもく窯」がある。「炭を作りたい」という子どもの声を機に、今から13年前に校区の方々の協力によって作られた。その時のメンバーだった鈴木さんは毎年3月、小学5年生を対象に竹炭づくりを教えている。子どもたちの貴重な学びの先生として、鈴木さんは本職の先生からも頼りにされる存在だ。校内整備員さんやボランティアの方々の協力も大きい。



気力も体力も使う竹炭づくりは
子どもたちの笑顔が原動力

竹炭づくりに使うのは学校区に生える孟宗竹。窯の温度が高すぎると灰になり、低すぎると火が消えてしまうため、温度と空気の調整には特に気を配る。煙の状態を観察しつつ窯を見守ること24時間。完成までにさらに2~3日。数日間にわたる工程のうち、子どもたちは竹割り、炭入れ、火付け、炭出しで楽しい時間を過ごす。はじめてづくしの体験に終始笑顔。「みんな喜んでやってくれる。それが何よりだね。」鈴木さんの原動力は、そんな子どもたちの姿だ。



山の木々に隠れがちな大小の岩たち
表面からはわかりにくいが、実は小学校のそばには大小の岩が連なる。昔は山頂近くから絶景が臨めたとか。山に抱かれた地形には風が直接降りることは少なく、例えば台風時でもさほど壊られないのだそう。

学校や地域にさまざまな
恩恵をもたらす竹炭づくり

今では地域を代表する贈答品となった竹炭。煙から抽出される竹酢液も貴重な産物だ。子どもたちにとってのお楽しみは、蓮の果托や栗のイガなどを竹とともに窯に入れて炭化させる、いわば化学の遊び。ニスを塗れば工作の材料として子どもたちの感性を刺激する。竹炭づくりの恩恵はなんと広く深いことか。現在、鈴木さんは後継者を募集中。石野や子どもたちのために、竹炭づくりが永く続きますように。

木と人を結んで生かす 石野のログビルダー

深見さん

石野地区の中切町在住。ログビルダー歴25年。
石野ログクラブの活動も20年間続いている。



遊びの延長から始めた 本格的なログハウスづくり

豊田市立久久平小学校からほど近く、本堂がログハウスでできたお寺がある。大屋根が印象的だ。「手を合わせたような形の合掌造りにしたかった」と語る深見さんは、石野在住のログビルダー。10年ほど木のものづくりを趣味にするうちにログハウスを自宅として建てたのがすべてのはじまり。自宅とほど近い山中に作業場を構え、公私ともに石野を拠点に活動中。「石野は里山感がありながらもまちからほど近い。だからちょうどいいんですよ。」



シンプルはベストで、丸太の魅力をそのまま生かす

本場カナダの北西部で経験を積み、大小含めると20数件建ててきた深見さん。最近では工場で製材するマシンカットが主流だが、深見さんは今もハンドカットにこだわる。「原木が持つ魅力がすごいから。シンプルが一番。」と、山から切り出した木をそのまま生かす。なかには長さ12m、重さ2tの巨大な木も。ログハウスづくりは丸太を一段ずつ組む作業の繰り返しとはいえ、一本一本の太さや特徴を見極めてどの木をどう活かすか決めなければならない。作業はすべて一発勝負。梁をどう見せるかが最大の腕の見せ所だ。シンプルだからこそ、ログハウスには職人の技量とセンスが詰まっている。

森林資源を生かした遊びで、地域にも貢献

私の好きな石野
活動拠点に最適な豊かな自然
チェーンソーの騒音や丸太の搬入出の都合など、石野は木材を扱うには最適な環境。さらに、猪や森の妖精と言われるテンや、むさび、リスなど、野生の動物たちと出会えるのも魅力だそう。



人生をどう楽しむか 石野だから作られた楽園

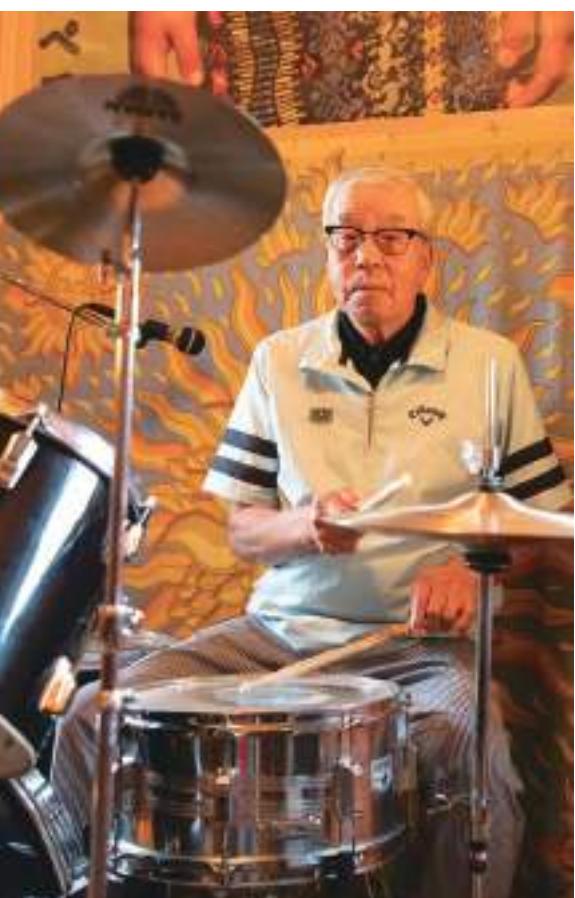
綾纏さん夫婦

多忙だった新聞販売業を引退し、石野へ移住して約10年。夫婦二人でのんびりと、ときには友人たちと賑やかに第二の人生を謳歌している。



とにかく多忙だった現役時代 憧れの暮らしを石野でスタート

大屋根と大胆な梁が特徴のログハウス、様々な草花が丁寧に植えられた庭…。綾纏さんご夫婦は、ここ石野でセカンドライフを満喫している。この土地を見たときに「ここだ!」と直感。分譲4区画のうち3区画を購入した。奥様の姉妹や親戚が集まりやすい場所だったことも決め手に。さらに、数軒先にご主人の中学時代の恩師がいたという嬉しい偶然も重なった。社交的な人柄に加えて地域に積極的に関わったことも、新生活の安定につながった。



家庭菜園、ガーデニング、音楽… 趣味が紡ぐ豊かな時間

ご主人はドラムを、奥様はあるミュージシャンの追っかけをしていたことから、交友関係の多くは音楽つながり。40名ほど入る広やかなりビッグなライブ会場だ。北は北海道から南は奄美大島までミュージシャンたちが訪れてはセッションする。皆で集まり、飲み、語らう。これぞ夫婦が叶えたセカンドライフの醍醐味。収穫した野菜が手料理で振舞われたり、奥様こだわりのゲストルームがあったりと、家中におもてなし精神があふれている。それでいて無理がない。

根っこにあるのは楽しむ気持ちだ。



人生の楽園への一歩は 高い行動力と確かな想像力

「今の暮らしはまさに人生の楽園だね」と、穏やかに笑うご主人。傍らには朗らかな奥様。そんな日々を叶えるコツは何なのか。「特別なことはなにも。ただ、出会った時の感覚を大事にすることくらい。例えばペットを飼うときみたいにね。」これからも綾纏家を中心に、豊かな人生の輪が広がっていく。

地域を温かくつなぐ 石野のスーパーーター

鈴木敏朗さん

石野生まれ、石野育ち。消防士を退職後、学校や地域の貢献活動を続けて10年以上。農業経験も豊富。



今日は小学校、明日は中学校…と
垣根を越えた活動に邁進

ラムサール条約に登録された上高湿地を守る会の会長、愛知県交通安全協会の交通指導員、上鷹見小学校やこども園のアドバイザー…。これは、敏朗さんの活動のほんの一部。多くを占めるのは、子どもたちの体験型学習に関するサポートだ。石野のあちこちで年中活動している敏朗さんは、この地域ではちょっとした有名人。きっかけは10年ほど前、お孫さんがこども園に入園した縁で園のお手伝いをしたことがすべてのはじまり。その後、交通指導員として各小学校と関わり、活動の場が中学校まで広がった。「現役時代よりも今の方が忙しいかも(笑)」と敏朗さん。困った素振りはみじんも見せない。むしろ、心底楽しそうだ。



豊かな自然と意外な?利便性

中核市である豊田市にとって、石野はまるで自然公園のような存在。車が無ければ不便な田舎だけれど、市街地から意外と近いところが魅力とか。



子どもたちの「ありがとう」が何よりの喜び

取材当日も、特別養護老人ホーム石野の里へ慰問する小学生たちをバスで送迎していた敏朗さん。お年寄りの前で楽器を演奏する子どもたちを見つめる眼差しには、愛情があふれていた。この日だけではない。様々なシーンで子どもたちと触れ合う表情は、いつでも温かい。そんな敏朗さんのもとには、毎年子どもたちからお礼の手紙が大量に届く。「ありがとうの言葉が何よりのやりがいです。」その一つひとつが財産となって、敏朗さんの今につながっている。

願いは、支える暮らしをいつまでも続けること

「体力的に厳しいと感じることもある。でも、楽しくて苦労は感じません」と語る敏朗さんの願いは、この活動、この生活をいつまでも続けること。そして生まれる子どもと大人、さらには地域のつながりこそ、石野の住みやすさを支えているに違いない。



石野だから出会えた 理想の暮らしと子育て

益城さんご一家(ご夫婦30代)

ご主人の海外赴任を経て、市内他地区から石野に移住して約3年。5人の子どもたちと石野で子育てライフを満喫中。



石野と出会い、夫婦そろって移住を即決
最大の魅力は“自然の豊かさ”

「昔ながらの暮らしのいい所を大事にしたかった」と語る益城さんの住まいは木質感たっぷり。暖炉が温かみを演出し、吊り輪が遊び心をくすぐる住空間だ。こだわったのはロケーションもしかし。石野という地に出会った瞬間、ご夫婦そろって「ここが探していた場所だ」と直感した。「石野の魅力は何より自然が豊かなところ。それでいて市街地からさほど遠くないのがいいですね。通勤時間も20~30分ですし、買い物にも不便を感じていません。」



自然が教科書!のびのび子育てが楽しめる
キツネやウサギなどの野生動物と出会うのも日常茶飯事。キジがヒナ鳥と散歩する姿も見かけられる。虫取りもわざわざ出かける必要なし!自然を身近に感じながら子育てするにはうってつけの場所だ。



心地よい暮らしを支える 地域や人とのコミュニケーション

奥さんは家からほど近い畑で野菜づくりを楽しみ、季節の恵みを家族で食す。子どもたちは土に親しみ、食への感謝を自ずと学ぶ。巫女舞やふれあいまつりなどの地域の賑わいを通してご近所づきあいも欠かさない。ほぼ同時期に越してきたいくつかの世帯が同年代ということもあり、子どもや親同士でコミュニティを築けていることも暮らしを心地よくする大きな要因だろう。

不便はマイナスじゃない!? 楽しむ気持ちが理想の暮らしに会えるヒント

気になる点をしいて上げるならば、長女が通う中学校が遠いこと。でも、それも見方を変えれば「自転車通学が大変な分、体力がある子に育つ」と奥さんは明るく語る。「長所や短所はどの町にもあるでしょう?だから、いい所に目を向けることが大事。虫だって、よく見たら結構奥深い(笑)。子どもと一緒に虫のことを調べたりして楽しんでいます。」苦手なことや不便なことも家族でいかに楽しむか。そこに、理想の暮らしを叶えるヒントがあるに違いない。



安心してください!
コンビニもあります



詳しくはP.2へ



ひろい石野地区の中にコンビニエンスストアがわずか2軒!
だから、いろんな人が集まって、今日もにぎやか!

わたしたちが暮らす 石野はこんな場所!



自然あふれるロケーションとそれを生かし繋いできた技や知恵を
学校の授業で子どもたちと楽しくシェア!

教科書だけでは学べない体感型学習を積極的に取り入れています。



田舎ならではの
個性的な学校教育

詳しくはP.15へ



広瀬駅前ひろ



寄っついで!
人情味あふれる
人たち

詳しくはP.11へ

石野ではさまざまな場面で暮らしを支え合うのが日常的。
今日もあちらこちらで人情味あふれるあたかな時間が
流れています。

意外?と
アクセス至便な道路事情

詳しくはP.2へ

豊田
市街地まで
約20分



▲豊田勘八IC



▲力石IC



▲oidenバス

車なら豊田市街地まで約20分!
東海環状自動車道の
豊田勘八ICと猿投グリーンロードの
力石ICがあるので
市外・県外へのアクセスも便利!
お年寄りにやさしい
地域バスもあります。



日常の贅沢、
豊かな景勝地

詳しくはP.5・P.9へ



雄々しい緑と矢作川の水に抱かれた石野には
自然が作り出した名所が数多くあります。
そんな自然が見せてくれる豊かな表情は
石野にとっては日常であり、
実は贅沢なことでもあるのです。



大人が趣味を満喫
できる場所

詳しくはP.19へ



石野地区への定住を応援する豊田市の各種制度・補助金

※令和2年3月現在。最新の情報は、豊田市ホームページ等でご確認ください。

豊田市山村地域等定住応援補助金

豊田市の山村地域等に地域活動への参加を前提に定住するための住宅を取得した場合に、住宅取得に要する費用の一部を補助します。

補助金額

住宅:取得費の10分の1以内(限度額50万円)

住宅用地:取得費の10分の1以内(限度額50万円)。ただし、所有権を2分の1以上有し、かつ、住宅取得に伴い住宅用地を売買によって取得した場合に限ります)

豊田市エコファミリー支援補助金

スマートハウスを構成する、創エネルギー機器(住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム)、省エネルギー機器(家庭用エネルギー管理システム)、蓄エネルギー機器(家庭用リチウムイオン蓄電池システム、電気自動車等充給電設備)の導入、高断熱窓の設置及び次世代自動車の購入に要する費用を補助します。

①スマートハウス化設備

(太陽光発電システム及び家庭用エネルギー管理システム(HEMS)を設置し、かつ、家庭用リチウムイオン蓄電池システム又は電気自動車等充給電設備(ヴィーグル・トゥ・ホーム(V2H))を設置する場合に補助、国のZEH補助金を受けている場合は上乗せ加算あり)

②家庭用燃料電池システム

③家庭用エネルギー管理システム(HEMS)(既存住宅への設置のみ補助対象)

④家庭用リチウムイオン蓄電池システム又は電気自動車等充給電設備(ヴィーグル・トゥ・ホーム(V2H))(既存住宅への設置のみ補助対象)

⑤住宅用エコ窓(既存住宅への改修のみ補助対象)

⑥次世代自動車(プラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車、超小型電気自動車)

⑦ハイブリッド車の外部給電設備

空き家情報バンク

山村地域等での生活を希望する人向けに、賃貸又は売却を希望する空き家情報を提供しています。空き家に定住し、地域住民と協調して生活することができ、地域の生活文化や自然環境を理解しながら居住者としての自覚を持って生活すること等が条件です。

豊田市山村地域等空き家再生事業補助金

豊田市山村地域等空き家再生事業補助金

空き家情報バンクで契約が成立し、空き家の改修が必要な場合、改修にかかった費用の10分の8まで(上限100万円)を補助します。

理想の暮らしを叶える場所を探しているあなたへ。

豊田市石野地区のさまざまな魅力をお伝えしてきました。

いかがでしたか?思っていたよりも田舎でしたか?

意外と利便性を感じただけたでしょうか。

それでも、やっぱり「百聞は一見に如かず」。

本誌を片手に、ぜひ一度わたしたちの石野に来てみてください。

そして、あなたの理想の暮らしが叶う場所として

石野に住んでもらえたなら、最高に嬉しいです。

少しでも心に留めてもらえただけでも光栄に思います。

最後まで読んでいただき、

ありがとうございました。



編集後記



坂 春孝

編集委員として、主に石野の達人の紹介をさせていただきました。達人の皆さんとは、どちらも自分の技を更に磨き上げ、輝いている姿を目の当たりにして、私もうれしく感じました。編集委員やって良かったなあ!



藤村 信治

石野を選んで移り住もうという人を惹きつけるには、今石野に暮らす人たちが地域に愛着と誇りを持ち、生き生きと暮らしていることが原点でしょう。この冊子が、その一助になれば幸いです。



宮本 正博

石野に引っ越してきて4年になります。まだ知らない石野に触ることで、魅力あふれる地域だと再認識できました。



鈴木 千敏

今回の経験で、春夏秋冬を感じられる自然の中で暮らす石野地区のよさを再認識することができました。



澤田 清美

人のぬくもりを再認識しました。自然の中で石野のぬくもりを感じてのんびり生活してみませんか。



中野 由美

住み始めて22年。まだまだ知らなかった場所がたくさんありました。あなたもほっとできる場所を、石野で見つけてみませんか…。



令和2年3月 石野地域予算提案事業

発行者

石野地域会議（事務局 豊田市地域振興部猿投支所）

〒470-0373 豊田市四郷町東畑 70 番地1

電話 0565-45-1214

